

**製品名: NF-H ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab14648**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:20000-1:40000

分子量

**抗原情報**

遺伝子名	NEFH
別名	NEFH; KIAA0845; NFH; Neurofilament heavy polypeptide; NF-H; 200 kDa neurofilament protein; Neurofilament triplet H protein
遺伝子 ID	4744.0
SwissProt ID	P12036
免疫原	抗血清はヒト NF-H 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 923-972

**背景**

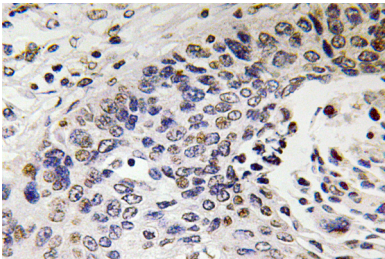
ニューロフィラメントは、軽鎖、中鎖、重鎖からなる IV 型中間径フィラメントヘテロポリマーです。ニューロフィラメントは軸索骨

格を構成し、機能的にニューロンの直径を維持します。また、軸索および樹状突起への細胞内輸送にも関与している可能性があります。この遺伝子は、重ニューロフィラメントタンパク質をコードします。このタンパク質は、ニューロン損傷のバイオマーカーとして一般的に使用されており、筋萎縮性側索硬化症（ALS）の感受性は、この遺伝子の変異と関連付けられています。[RefSeq 提供、2008年10月]、疾患：NEFHの欠陥は、筋萎縮性側索硬化症（ALS）の感受性の原因です[MIM:105400]。ALSは、上位および下位運動ニューロンを侵し、致死的な麻痺を引き起こす神経変性疾患です。感覚異常は認められません。通常、2~5年以内に死亡します。病因は多因子性である可能性が高く、遺伝的要因と環境的要因の両方が関係しています。機能:ニューロフィラメントには通常、ニューロンの径の維持に関与する3つの中間径フィラメントタンパク質(L、M、H)が含まれています。NF-Hは成熟した軸索において重要な役割を果たしますが、これは2つのより小さなNFタンパク質によって支えられていません。オンライン情報:ALS遺伝子変異db,多型:繰り返し数は29~30の間で変動することが示されています。PTM:リン酸化は、より大きなニューロフィラメントポリペプチド(NF-MおよびNF-H)の機能において主要な役割を果たしていると思われ、リン酸化のレベルは発達によって変化し、ニューロフィラメント機能の変化と一致しています。PTM:トリペプチドK-S-Pの繰り返しが多数あり、NFHはこのモチーフ内のいくつかのセリンでリン酸化されます。NFHのリン酸化は、軸索の太さの維持に重要なフィラメント間架橋の形成につながると考えられています。類似性:中間径フィラメントファミリーに属します。

## 研究分野

筋萎縮性側索硬化症 (ALS)

## 画像データ



パラフィン包埋ヒト肺癌組織におけるNF-H抗体の免疫組織化学分析。